

復元されたボードゲーム 「かりうち」で古代を体感！

1300年の時を経て、現代によみがえったまぼろしの
ボードゲーム「かりうち」に挑む挑戦者を募集!!

日時 2026年11月3日(火曜日・文化の日) 午前の部 10:00～11:30
2026年11月24日(火曜日) 午後の部 13:30～15:00
2026年11月27日(金曜日) (全日程 午前・午後開催)

場所 愛知県埋蔵文化財調査センター 2階 研修室

内容 説明、遊び方動画視聴、かりうち対戦、愛知県の歴史を学ぶ

定員 先着順 各回10組[1組1～3人程] (各回とも同一の内容です)

※ お一人様、ご家族様、知人・友人同士、お気軽にご参加ください

参加費 無料

アクセス

○公共交通機関

- ・「近鉄弥富駅」下車 徒歩18分 タクシー5分
- ・「JR弥富駅」(関西本線) 下車 徒歩18分
- ・「名鉄弥富駅」(尾西線) 下車 徒歩18分
- ・木曽岬町自主運行バス

「近鉄弥富駅」から「前ヶ須」下車すぐ

○自動車・自転車

- ・建物前駐車場をお使いください。
- 愛知県弥富市前ヶ須田野方 802-24
TEL 0567-67-4164



画像提供 奈良文化財研究所



愛知県埋蔵文化財調査センター位置図



画像提供 奈良文化財研究所

かりうちとは

奈良時代に遊ばれていた双六に似たボードゲーム、かりうち。土器などに描かれた盤面と、かりと呼ばれるサイコロの代わりに投げる棒を用いて遊びます。

2015年、奈良文化財研究所は、平城宮・京など各地の奈良時代の遺跡から出土した土器や瓦に描かれた円形記号が、古代の遊び「かりうち」の盤面であることを解明しました。



画像提供 奈良文化財研究所

かりうちの特徴

○だれでも楽しめるシンプルなルール

テストプレイを経て、わかりやすい公式ルールと盤面デザインがつけられました。

○使いやすいシンプルな用具

出土資料を参考に、現代でも遊びやすい盤面・かり（棒）・コマがつけられました。

○運と戦略が鍵を握るゲーム性

最後まで逆転のチャンスがある、とてもスリリングなゲームです。コマの進め方が勝負の分かれ目。

かりうちを体験して（遊んでの感想）

- ・ルールも分かりやすく、奥が深く、楽しかったです。
- ・簡単かと思いきや意外と戦略などに工夫が要る、おもしろいゲームでした。
- ・とても楽しかった。学校の友達ともやってみよう。
- ・昔の人々も現代と同じように遊びながら生活していたことに少し驚きました。
- ・昔の遊びなのであまりおもしろくないのでは思っていたが、すごく楽しかった。



かりうち公式ルールブック

<https://sitereports.nabunken.go.jp/ja/142886>

意外に
身近な考古学2

愛知県埋蔵文化財調査センター
秋の特別公開 2026

信仰する人々と 神・仏

2026.10.26 ~ 11.30



清洲城下町遺跡の古瓦・土器の複製品、土製土器、土製土器、土製土器、土製土器

休館日 土・日・祝日 ※11月3日（火曜日・文化の日）は開館します

開館時間 午前9時から午後4時

入館料 無料

会場 愛知県埋蔵文化財調査センター（弥富市）

展示解説

2026.11.3（火曜日・文化の日）

2026.11.24（火曜日）

2026.11.27（金曜日）

午前 9:30 ~ 9:45

午後 13:00 ~ 13:15

※ 各回とも内容は同じです

くわしくは愛知県埋蔵文化財調査センター
ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/maizobunkazai/>

